



2019年12月期 第1四半期 決算説明資料

2019年 5月 9日
富士ソフト 株式会社



目次

2019年12月期 第1四半期 決算

P2. 連結業績ハイライト（1-3月）

P4. 主なグループ会社売上高・営業利益

P5. 連結セグメント別売上高・営業利益

P7. 連結損益計算書

P8. 連結貸借対照表

P9. 連結キャッシュ・フロー計算書

P10. 連結S I事業の受注高・受注残高



1.連結業績ハイライト (1-3月)

売上高はシステム構築分野およびグループ会社の製品販売の好調により増収

◇売上高は、組込/制御系では自動車関連、FAなど機械制御系、業務系では金融業向け、製造業向け、インターネットサービスを中心にシステム構築分野が好調に推移しました。また、ライセンス販売やグループ会社の製品販売も好調に推移し、前同比111.6%の55,213百万円となりました。

営業利益は増収および原価率の改善により増益

◇営業利益は、増収および原価率の改善により前同比135.2%の3,944百万円となりました。

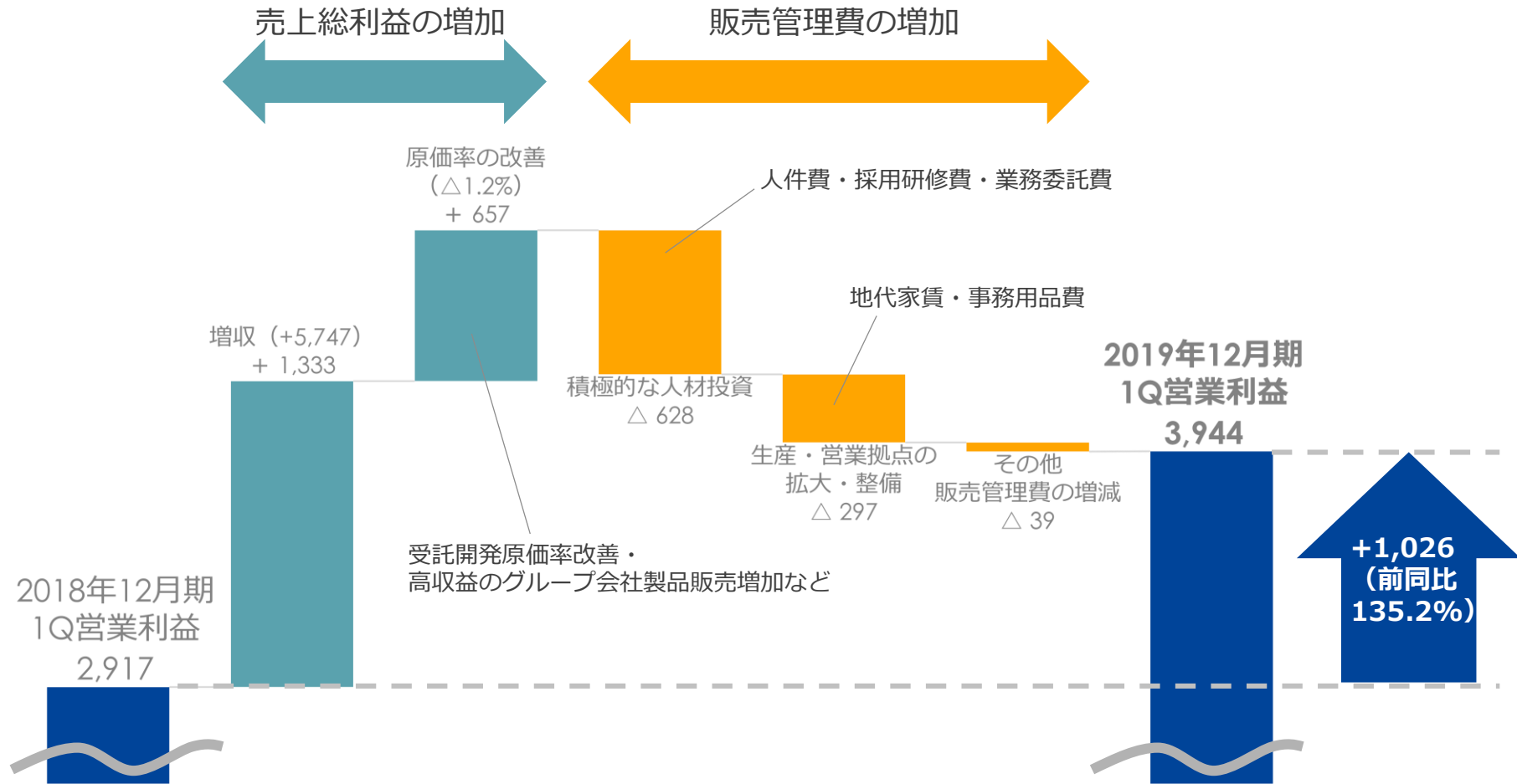
◇経常利益は、営業増益により前同比132.1%の3,995百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、前同比127.7%の2,257百万円となりました。

(単位：百万円)

	2018年12月期 1Q実績	2019年12月期 1Q実績	前同差	前同比	2019年12月期 1Q計画	計画比
売上高	49,466	55,213	+5,747	111.6%	50,750	108.8%
営業利益	2,917	3,944	+1,026	135.2%	2,950	133.7%
営業利益率	5.9%	7.1%			5.8%	
経常利益	3,024	3,995	+971	132.1%	3,080	129.7%
経常利益率	6.1%	7.2%			6.1%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,768	2,257	+489	127.7%	1,795	125.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.6%	4.1%			3.5%	

連結営業利益の状況





2.主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2019年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	1Q実績	35,642	2,081	売上高は、組込/制御系では自動車関連、FAなど機械制御系、業務系では製造業向け、金融業向け、インターネットサービスを中心にシステム構築分野が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増収および受託開発原価率の改善により増益となりました。
	前同差	+4,048	+258	
	前同比	112.8%	114.2%	
サイバネットシステム	1Q実績	5,140	664	売上高は、国内ではCAEソリューションサービス事業及びITソリューションサービス事業ともに好調に推移しました。海外では、米国の開発子会社及びアジアの販売子会社が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。
	前同差	+527	+483	
	前同比	111.4%	366.9%	
ヴィンクス	1Q実績	6,778	643	売上高は、消費税増税対応による一時的な案件の増加及び既存顧客への深耕が奏功したことにより、増収となりました。営業利益は、増収および原価率の改善により増益となりました。
	前同差	+669	+232	
	前同比	111.0%	156.6%	
サイバーコム	1Q実績	3,338	265	売上高は、ソフトウェア開発における車載システム及び半導体製造装置等の制御系案件や、生保向けシステム及び医療向けシステム等の業務系案件が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増収及び生産性向上による原価改善により増益となりました。
	前同差	+406	+26	
	前同比	113.9%	111.0%	
富士ソフト サービスビューロ	1Q実績	3,204	134	売上高は、コールセンター・BPOとも官公庁向けが引き続き堅調に推移し、民間向けも伸長したことから増収となりました。営業利益は、増収及び原価低減により、体制強化による人件費の増加やインフラ整備等の販管費の増加を吸収して増益となりました。
	前同差	+469	+52	
	前同比	117.2%	164.6%	

※「2019年12月期1Q実績」欄には、各社2019年1~3月の実績を記載しています。



3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2019年12月期売上高		前同差		2019年12月期営業利益		前同差	
	1Q実績	構成比		前同比	1Q実績	営業利益率		前同比
全社計	55,213	100.0%	+5,747	111.6%	3,944	7.1%	+1,026	135.2%
SI事業	50,953	92.3%	+5,384	111.8%	3,417	6.7%	+913	136.5%
システム構築	32,629	59.1%	+4,708	116.9%	2,122	6.5%	+486	129.8%
組込系／制御系ソフトウェア	15,857	28.7%	+1,432	109.9%	1,076	6.8%	+127	113.4%
業務系ソフトウェア	16,771	30.4%	+3,276	124.3%	1,045	6.2%	+359	152.3%
プロダクト・サービス	18,323	33.2%	+675	103.8%	1,295	7.1%	+427	149.2%
プロダクト・サービス	14,752	26.7%	+985	107.2%	991	6.7%	+347	154.1%
アウトソーシング	3,571	6.5%	△ 309	92.0%	304	8.5%	+79	135.2%
ファシリティ事業	739	1.3%	△ 10	98.7%	322	43.6%	+96	142.7%
その他事業	3,520	6.4%	+372	111.8%	203	5.8%	+16	108.7%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、自動車関連、FAなど機械制御系が引き続き好調に推移したことなどにより、前同比109.9%と増収になりました。営業利益は、増収および原価率の改善により前同比113.4%と増益になりました。

●業務系ソフトウェア

売上高は、金融業向け、製造業向け、インターネットサービスを中心に好調に推移し、前同比124.3%と増収になりました。営業利益は、増収および、金融業向け、グループ会社における流通・サービス向けで原価率が改善したことなどにより前同比152.3%と増益になりました。

●プロダクト・サービス

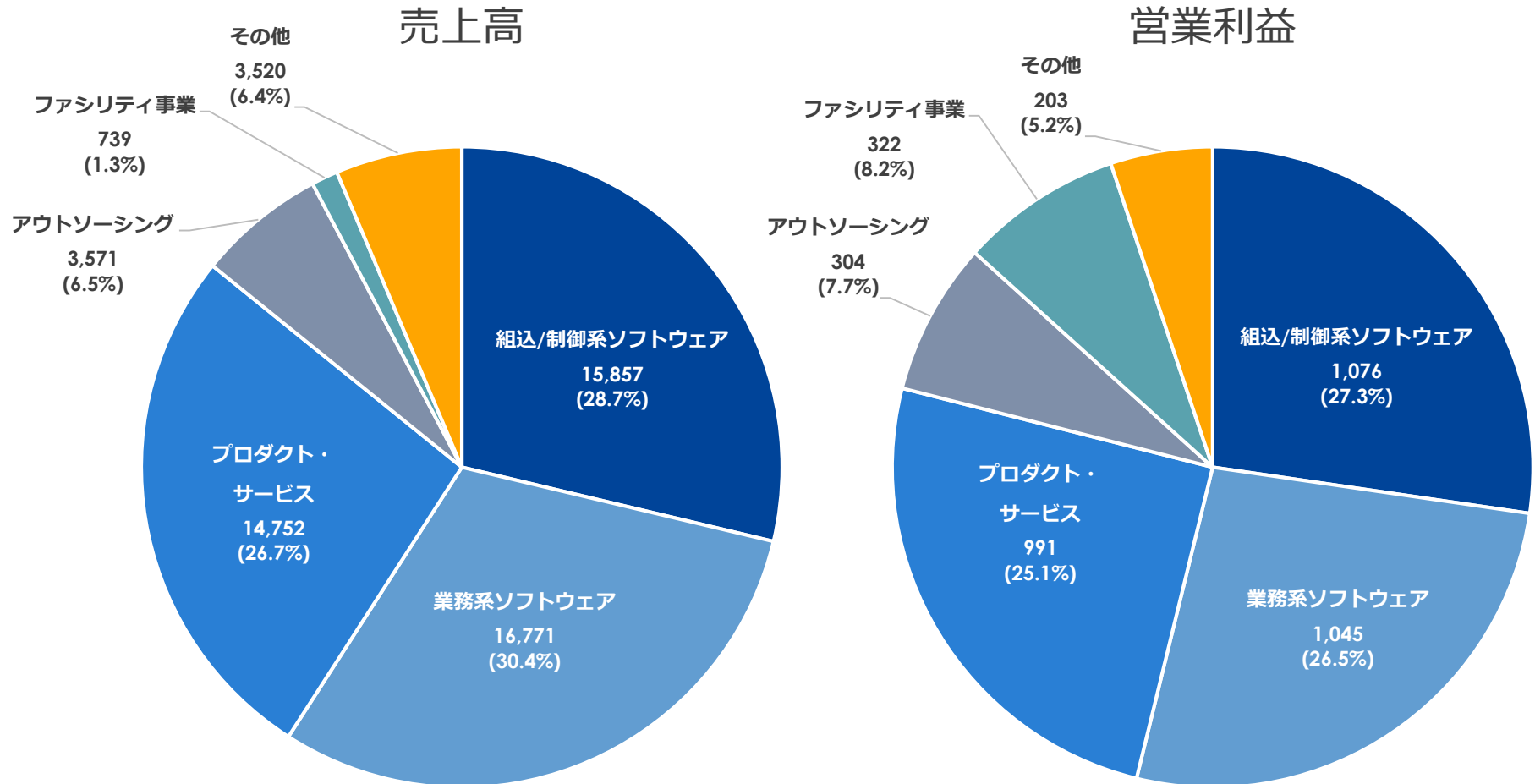
売上高は、ライセンス販売、およびグループ会社の製品販売が好調に推移し、前同比107.2%と増収になりました。営業利益は、増収および収益性の高いグループ会社の製品販売増加により154.1%と増益になりました。

●アウトソーシング

売上高は、グループ会社における流通・サービス向けが減少し、前同比92.0%と減収となりました。営業利益は、グループ会社における流通・サービス向けで収益性の高い運用・保守案件の割合が増加したことにより前同比135.2%と増益になりました。



連結セグメント別売上高・営業利益の状況



4.連結損益計算書

(単位：百万円)

	2018年12月期	2019年12月期	前同差	前同比	2019年12月期	
	1Q実績	1Q実績			1Q計画	計画比
売上高	49,466	55,213	+5,747	111.6%	50,750	108.8%
売上原価	37,990	41,746	+3,756	109.9%	-	-
売上原価率	76.8%	75.6%	①			
売上総利益	11,476	13,467	+1,990	117.3%	-	-
売上総利益率	23.2%	24.4%				
販売費及び一般管理費	8,558	9,522	+964	② 111.3%	-	-
販管費率	17.3%	17.2%				
営業利益	2,917	3,944	+1,026	135.2%	2,950	133.7%
営業利益率	5.9%	7.1%			5.8%	
営業外収益	115	88	△ 26	76.9%	-	-
営業外費用	150	64	△ 86	42.9%	-	-
持分法による投資損益	142	27	△ 114	19.4%	-	-
経常利益	3,024	3,995	+971	132.1%	3,080	129.7%
経常利益率	6.1%	7.2%			6.1%	
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	18	17	△ 0	97.4%	-	-
税金等調整前四半期純利益	3,005	3,977	+972	132.3%	-	-
法人税等合計	876	1,185	+308	135.2%	-	-
四半期純利益	2,129	2,792	+663	131.1%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	361	534	+173	148.1%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,768	2,257	+489	127.7%	1,795	125.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.6%	4.1%			3.5%	

損益計算書のポイント

① 売上原価率 (75.6%)

生産性の向上による受託開発原価率の改善および、収益性の高いグループ会社製品販売の増加による改善

② 販売費及び一般管理費 (+964百万円)

活況なマーケットに積極的に対応するための営業体制強化および拠点整備に関わる費用の増加等



5.連結貸借対照表

	2018年12月期 期末	2019年12月期 1Q期末	前期末差	2018年12月期 1Q期末(参考)
(単位：百万円)				
流動資産	77,315	84,117	6,801 ①	72,885
現金及び預金	22,554	23,736	1,182	18,104
受取手形及び売掛金	44,456	48,711	4,255	44,220
有価証券	4,000	5,000	1,000	4,500
たな卸資産	3,354	4,059	704	3,557
その他	2,950	2,610	△ 340	2,503
固定資産	115,310	116,045	734	120,955
有形固定資産	82,356	82,056	△ 299	82,590
無形固定資産	4,738	4,836	97	6,971
投資その他の資産	28,214	29,152	937	31,392
資産合計	192,625	200,162	7,536	193,840
流動負債	49,428	46,604	△ 2,823	59,729
支払手形及び買掛金	9,526	13,296	3,769	11,938
短期借入金	16,207	6,798	△ 9,409	26,641
コマーシャル・ペーパー	-	3,000	3,000	-
未払費用・賞与引当金	9,155	11,232	2,077 ②	9,996
未払法人税等	2,492	1,921	△ 570	1,743
工事損失引当金	252	242	△ 10	194
その他	11,793	10,112	△ 1,681	9,214
固定負債	23,526	31,791	8,264	14,871
長期借入金	13,319	22,217	8,897	4,069
その他	10,207	9,573	△ 633	10,801
負債合計	72,955	78,395	5,440	74,600
純資産合計	119,670	121,767	2,096	119,240
負債純資産合計	192,625	200,162	7,536	193,840

貸借対照表のポイント

① 流動資産 (+6,801百万円)

好調な受注環境による売上債権や現預金の増加など

② 流動負債 (△2,823百万円) 固定負債 (+8,264百万円)

調達目的に応じた長短資金バランスの見直し

6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2018年12月期 1Q実績	2019年12月期 1Q実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	623	2,232	+1,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,931	△ 1,545	+17,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,304	1,695	△ 15,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 89	△ 21	
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,092	2,362	
現金及び現金同等物の期首残高	22,157	24,587	
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,064	26,950	

キャッシュ・フローのポイント

●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は2,232百万円の収入となりました。

なお、増収による入金増加により、前同差は1,609百万円の増加となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は自社製品や設備に関する投資により、1,545百万円の支出となりました。なお、前期はオフィススペース確保のための土地・建物取得などにより、18,931百万円の支出でした。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は借入により、1,695百万円の収入となりました。なお、前期は土地・建物取得に関する借入により、17,304百万円の収入でした。



7.連結S I事業の受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2019年12月期 1Q実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	44,627	111.3%	55,372	115.0%	50,953	111.8%	49,046	114.9%
システム構築	31,330	114.1%	34,114	123.1%	32,629	116.9%	32,815	120.5%
組込系／制御系ソフトウェア	12,759	111.6%	16,456	113.7%	15,857	109.9%	13,357	116.3%
業務系ソフトウェア	18,570	116.0%	17,658	133.4%	16,771	124.3%	19,457	123.5%
プロダクト・サービス	13,297	105.2%	21,257	104.0%	18,323	103.8%	16,231	105.2%
プロダクト・サービス	10,795	111.1%	17,475	105.7%	14,752	107.2%	13,519	108.3%
アウトソーシング	2,501	85.5%	3,781	97.0%	3,571	92.0%	2,712	92.1%

受注高・受注残高のポイント

●システム構築分野のポイント

- ・組込系/制御系ソフトウェア
FA関連など機械制御系、自動車関連の受注が好調に推移し、期末受注残高は前同比116.3%となりました。
- ・業務系ソフトウェア
グループ会社における流通・サービス向け、製造業向け、インターネットサービス向けを中心に受注が好調に推移し、期末受注残高は前同比123.5%となりました。

●プロダクト・サービス分野のポイント

- ・プロダクト・サービス
ライセンス販売の受注が好調に推移し、期末受注残高は前同比108.3%となりました。
- ・アウトソーシング
グループ会社における流通・サービス向けの取引が減少し、継続案件が減少したことなどにより、期末受注残高は前同比92.1%となりました。



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。